


無電化地域ソリューション

 ミャンマー活動レポート

ヤンゴン市内で寄贈式典を開催



創業100周年記念活動の一環として開始した、無電化地域ソリューションプロジェクト。2018年7月13日、ミャンマー西部のベービンセンナ村に、パワーサプライステーション（PSS）※とソーラーストレージを寄贈し、ヤンゴン市内で寄贈式典を行ないました。丸山市郎駐ミャンマー日本国特命全権大使、JETROやJICAのご来賓の方々のほか、マスコミ各社を含め50人ほどにお集りいただき、盛大な式典となりました。また、この前日には、寄贈先の村の学校で、村主催の落成式も行われ、課題解決に挑む第一歩を踏み出しました。

※ここでご紹介しているパワーサプライステーション（パワーサプライコンテナ）は、2019年3月をもって生産終了しております。

販売および寄贈は現在は受けつけておりません。ご了承ください。

登壇者の言葉



駐ミャンマー日本国特命全権大使

丸山 市郎氏

「ミャンマーは長い間、友好関係を保つ大切な国。日本政府もODAを活用した経済支援を予定しており、パナソニックと一緒に貢献できることを嬉しく思う。

ミャンマー国民の約6割が電気に困っており、本プロジェクトによる支援は大変有益。」



特定非営利活動法人 れんげ国際ボランティア会

平野 喜幸氏

「パナソニック創業100周年にプロジェクト協働の機会をいただけたことは大変感謝とともに光栄に存じている。今回の事業では、単に村に電気を届けるだけでなく、創業者の本をミャンマー語に翻訳し出版する予定もある。ぜひこの本の活用で、今ミャンマーで一番必要な人材の育成に役立てたい。」



パナソニック CSR・社会文化部 部長

福田 里香

「コミュニティの自立支援に必要なのは、寄贈にとどまらない活動。知識・技術の研修を通じた人材育成や、地場産業モデルの開発を通じて、教育基盤の確立と収入増に貢献し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）達成にもつなげていく。」



パナソニック アジアパシフィック ミャンマー支店 支店長

前田 恒和

「ミャンマー支店開設5周年の今年に、当社の創業100周年の記念として本プロジェクトを実施できたことは大変光栄。事業拡大だけでなく、社会貢献活動を通してミャンマーの社会課題の解決に全力を尽くしていきたい。」

村の落成式



寄贈式前日に寄贈先のベーピンセンナ村で、村主催の落成式が行なわれました。村でくらす人々から生の声を聞くことで、課題解決への決意を新たにしました。また、日本から招待したマスコミ関係者を対象にプレスツアーも実施。PSS※の設置現場などの視察や、村人へのインタビューが行なわれました。



大雨の中、子どもたちをはじめ、村の多くの方々に歓迎していただきました。



村長を始めとした村のキーマンと、学校関係者の皆さんに村や学校の課題について伺いました。



村民の家を訪問し、日常の暮らしや困り事について生の声を伺いました。

※ここでご紹介しているパワーサプライステーション（パワーサプライコンテナ）は、2019年3月をもって生産終了しております。

販売および寄贈は現在は受けつけておりません。ご了承ください。